

より良く生きる。——出居清太郎先生の世界—— 第26回

山本博也

「二つ一つ」の世界観（その2）

吐く息ばかり、あるいは吸う息ばかりであつて、これでは必ず行き詰まる。見事に差し上げて、そうして上手にいただく。これが正しい交流である。

（出居清太郎先生のことばから）

（1）息は吐く息と吸う息と二つで一つ

息は吐く息と吸う息と二つで一つである。この理が我々の生活の中にも常にいかされなければ、行き詰まり（息詰まり）となる。

人様に差し上げるのは好きだがいただくのはきらいだ、話しをするのは得意だが聞くのはにがてだ、世話をするのはいいがされるのはいやだ——というのでは、

■「二つ一つ」が存在の仕方の基本

たしかに私たちは、息を吸い、吐いて呼吸をして生きています。吸うだけ、吐くだけでは生きられません。

身体を見ても、手・足・目・耳・肺・腎臓など対になっています。

人と人の関係でも、夫と妻、親と子、先生と生徒、上司と部下、売り手と買い手、…というように対である場合が多く

あります。

また社会の制度でも、指定席と自由席、
期限付きと無期限など様々あります。

なるほど「二つ一つ」ということは世
の中における存在の仕方の基本原理の一
つだと言えるように思えます。

また私たちの行動も、話す―聞く、差
し上げる―いただく、世話する―世話さ
れるなど双方向があることによって社会
が円滑に動きます。

■相手との調和・協力が大事

そこにおいては「二つ一つ」の係に
ある両者が調和・協力することが大事で、
一方的であってはよくないということに
なります。

商売でも、相手の利益を無視するよう
なやり方は長続きしないでしょう。親指

がいかに強くても、親指だけでは紙一枚
持ち上げられません。他の指と協力する
ことで物を持ち上げることができます。

相手との調和・協力が大事で、自分の
強い立場をかさに着て一方的に相手を攻
撃することはハラスメントになります。

■常にもう一方を意識する

若くして亡くなった詩人金子みすずに
次の詩があります。

大漁

朝やけ小やけだ 大漁だ

大ばいわしの 大漁だ

はまは祭りの ようだけど

海のなかでは 何万の

いわしのとむらい するだろう

はつときさせられる詩です。大漁だ大漁
だとみんな喜んでいます。ところがそれ



ヤグルマソウ 大西 恵

は、魚にとっては悲しむべき大量の死にほかならないわけです。人間の世界だけでなく、もう一方には魚の世界があるということなのです。

「二つ一つ」の世界観を持つことの意味は、なにごとにも「もう一方」があることを思い、一方的・一面的な見方に陥ることなく、「もう一方」に対する配慮・敬愛をもつことだと思えます。

自分が応援していた選手が勝って喜ぶ

とき、負けた選手を応援していた人もいることを思い、宴会ではアルコールが飲めない人もいることに配慮し、部屋の冷房を強めるとき、冷房がにがてという人がいるかも知れないと気遣う。そういうことが、「二つ一つ」の世界観の実践といえるでしょう。

(2) 人の心を味わう

人の言動を見聞きするだけでなく、その人の心をよく味わうことが大切です。酔っぱらって暴言を吐く人でも、その人の心を深く味わってみると、その人を大切にしていあげようという気持ちになれるのです。

(3) ここに金遣いの荒い人がある

ここに金遣いの荒い人がある。すると人間相互にあっては常識的な、感情的な

判断に基づいて、この人が誤っている、この人は悪いんだと決めてしまう。こうして根本的な誤りを犯すことになる。人の世の法律は現実の行いによつてその善悪を判断して裁いていく。神の法にあつては、現実だけを判定の尺度にしない。過去の種、その人の魂をめぐる縁など、まことに複雑な要因が判定の尺度になる。この大切な根本を棚上げしておいて、簡単に人間感情で決めてしまうから間違いを生むことになる。

(出居清太郎先生の言葉から)

■自分の知らない世界も

酔つて暴言を吐くのはよくない、金遣いが荒いのは困りもの―常識的にはその通りであつて、誰もがそう思うでしょう。しかし、酔つて暴言を吐く人が心を

開いてくれて、その人の心が深く味わえたとき、思いもよらなかつたその人の複雑な、真実の世界が垣間見えて、その人をあたたかくつつんであげることができるかもしれません。

金遣いが荒いことについても、常識を超えた次元、魂の歴史における基準があつて、それに照らせば、単純に困つた人として切り捨てればいいというものではないという場合もあるかも知れません。

自分が知らない世界、気づかない世界、もう一方の世界があるかも知れないと思う謙虚さ、あたたかさが、限りある小さな存在にすぎない私たちにとつて大事なことではないでしょうか。

発行所 〒170-0011 東京都豊島区池袋本町3-11-1
修養団捧誠会 <https://www.hoseikai.or.jp>